

2022年度 東京都保護者会総会・講演会のご案内

下記のとおり「2022年度 東京都保護者会総会」等の開催を予定しています。

本年度も、講演会及び本学の先生方を囲んだ懇親会を総会終了後に企画していますので、ぜひ、ご参加ください。
なお、講演会は、東京都同窓会との共催となります。東京都保護者会総会としての催しですので、講演会のみの
参加及び東京都保護者会会員以外（同窓会会員を除く）の方の参加はご遠慮ください。

記

- ① 日 時 2022年 6月12日(日) 13時から17時
(受付は、12時30分からとなります。開会5分前には受付をお済ませください。)
- ② 場 所 アリスアカガーデン田町
- ③ 総 会 2021年度活動報告 決算報告
2022年度活動計画 予算案 役員選出等
- ④ 講演会 講師未定
- ⑤ 懇親会 未定

※1 詳細は、2022年5月中旬までに御案内はがきを送付予定です。

※2 【問合せ（メール）】nssu.apg.tokyo@gmail.com

今後の感染状況によっては会場およびスケジュール変更の可能性が御座います。

編集後記

2021年はwithコロナの中、東京オリンピック、パラリンピックが開催され日本大生の大活躍に感動しました。保護者会も制限がある中、対面での活動や大学のイベント参加などを行い、会報の紙面を飾ることが出来ました。

個人的ですが、無口な息子に何かしら関わりたくて入った保護者会ですが、結果として広報係を通して私自身が楽しめました。入学して3年間を通して感じたことは、皆、日本大愛に溢れている！ということ。仲間になれたことに親子共々感謝です。

最後になりましたが、会報発行にあたりご寄稿、ご協力して頂いた全ての方に御礼申し上げます。

広報担当 森 勝子



広報担当 島田、森、出沼

東京都 Nippon Sport Science University

2022.3.1

vol. 33

発行者 ●日本体育大学東京都保護者会
お問合せ先 ●nssu.apg.tokyo@gmail.com
タイトルロゴ ●越水春汀



日体大のオリンピック・パラリンピック

佐藤弘道先生インタビュー

横浜・健志台キャンパスツアー

学校情報

- ▶ n-passについて
- ▶ 2021年卒業就職状況

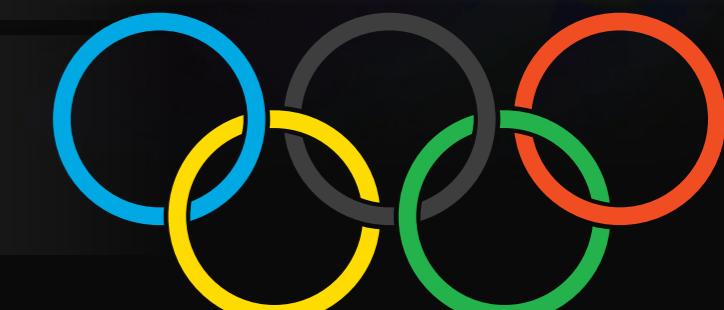
第58回体育研究発表実演会in横浜アリーナ

体操部第53回演技発表会

箱根駅伝

部活紹介

- ① スキーパー
- ② 空手道部
- ③ アメリカンフットボール部
- ④ カヌーパー



学長挨拶

新たなイメージ戦略の必要性

日本体育大学 学長
石井 隆憲



2021年4月1日より学長を拝命しました石井隆憲と申します。以後、よろしくお願ひいたします。保護者の皆様におかれましては、平素より日本体育大学発展のために多大なご協力とご理解をいただきまして誠にありがとうございます。ここでは体育・スポーツの世界の一旦と本学が現在考えている方向性について、お話しさせていただきます。

本学は今年度で創立130年を迎めました。また、新制大学として産声を上げてから72年になります。現在は体育学部を筆頭に5学部9学科、3研究科を擁する大学となりましたが、学部の増設が始まるのは、8年ほど前からありました。短大の改組がその始まりで、児童スポーツ教育学部が設置され、その後、保健医療学部のように新設した学部やスポーツ文化学部やスポーツマネジメント学部のように学科の改組によって設置された学部もあります。

学部設置の背景には、体育・スポーツの世界が、教員養成や指導者養成にとどまらず、非常に広い世界を持ち始めたことと関係しています。例えば、スポーツが経済資本の一つと考えられるようになり、スポーツ市場が拡大していく中でスポーツ産業やスポーツビジネスという世界が生まれてきました。また、スポーツと関連する人、モノ、カネ、情報などを管理、経営するという意味から、スポーツマネジメントという領域が形成されてきました。

一方、スポーツのこうした役割の拡大は、開発途上国においても展開されるようになりました。開発途上国の中には、貧困、紛争、医療、教育など、様々な社会問題を抱えており、それに対する支援が大きな課題となっています。英国のグラスゴーで開催されたCOP26でも見られたように途上国と先進国との間には、まだ大きな溝があるようです。地球の気温上昇を抑制するために、途上国も二酸化炭素の排出量を削減することに対して、先進国の資金援助や技術移転などが求められましたが、実質的な基金や制度の構築には至りませんでした。このようになかなか進まない話もある一方で、我が国においては、1965年ころからJICAを筆頭として、途上国へのスポーツの開発支援が行われてきました。スポ

ツによる国際支援は、数ある国際開発アプローチの一つですが、国際開発も「経済開発」から「人間開発」へと、その比重をシフトしており、スポーツはその中の重要なアプローチとなっていました。

ここに示した事例は、体育・スポーツの世界の中でみられる、新たな一面の一部にしかすぎません。こうした問題以外にも、従来からある「健康寿命の延伸」について、身体を動かすことを提供するというのではなく、健康の在り方をマネジメントするという、新たな視点とこれを実践するための新しい知識が求められるという場合もあります。

本学が学部を設置してきた背景には、こうした体育・スポーツの役割の拡大があったわけです。上述した世界に参入するにあたっては、必ずしも体育やスポーツに長けている必要はありません。体育やスポーツが好きで、それを学問や問題解決のツールとして用いていくとする志向を持っていればよいわけで、運動神経の良し悪しは求められません。つまり、これまで日体大が築き上げてきたトップアスリートのイメージとは、必ずしも一致する世界でないのかもしれませんということです。

本学の本丸となる体育学部は、これまでの日体大の歴史が作り上げてきたイメージ通りの人材育成を果たすために、学生募集を続けていく必要がありますが、しかし、その一方で他の4学部はそれぞれに目指す人材育成にマッチした学生を取り込むために、新しい日体大のイメージを構築していく必要があります。もちろん、本学の中心にはスポーツをするアスリートたちがいて、その周辺にはそれをサポート支援する人々が集っていますが、さらにその周りに体育・スポーツに興味関心を持っている人たちを取り込んでいくようなイメージを創っていこうというわけです。

現在、プレスリリースされている情報によれば、2023年には関東にある大手の大学2校がスポーツ系の学部を設置します。このことは体育・スポーツに興味関心を抱く受験生が、私たちが知っている以上に潜在的に存在することを意味しています。こうした大学と戦っていくためにも、新しい日体大のイメージを構築していきたいと考えているところです。

会長挨拶

東京都保護者会の皆様へ

日本体育大学東京都保護者会 会長
横川 英恵



東京都保護者会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、日頃より本会の活動に対して、深いご理解と多くのご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

今年度、日本体育大学東京都保護者会 会長を務めさせていただいております、横川英恵と申します。

日本体育大学在学生は約7246人、内1748名(2021年10月現在)が東京都で、全国で一番多い都市であると同時に保護者数も全国一番であります。5学部9教科の設置し、社会で幅広い分野で活躍出来る人材を輩出する総合大学となった事で、全ての日体大生に保護者会として充実した支援が可能となりました。

しかし、2020年より世界中に猛威を振るった新型コロナウイルスの影響で、本年度も制限のある中での活動となつており、例年行っていた、キャンパス見学会・イベントへの参加・箱根駅伝の応援などが出来ない中、感染症対策をしながら、体操のお兄さんでお馴染みの佐藤弘道先生による「座ったまま出来る体操」、東京オリンピックでトライアスロンの解説者、関根明子さんの講演などを企画して、少しでも多くの会員の皆様とお会いし、情報交換をして、学生・大学を支援して行く為の活動を組織的に出来ないかと、保護者会役員の皆様とアイデアを出し合いながら進めて参りました。

さて私事でございますが、「大学に保護者会があるなんて」と思う方も多いいらっしゃると思います。私もその一人でした。しかし、部活動の事、ゼミの事、就職活動の事などを先輩役員の皆様から教えて頂き、娘と大学生活や就職・将来について話し合う事が多くなりました。

また「日体フェスティバル」や「体育研究発表実演会」では、普段見る事が出来ない学生達の頑張る姿を間近に観る事が出来て、その強く美しい演技やパフォーマンスに、目頭が熱くなった事もありました。この様な体験が出来ただけでも役員会に参加して良かったと感じています。

縁あってこの日体大にご子息・ご息女が入学し、日体大の保護者として子供を見守る事になった皆様。「日本体育大学生を持つ親である事を楽しみ、胸熱くなる体験と一緒にしませんか?」まだ、保護者会の活動に参加されたことの無い方保護者の皆様におかれましては、是非とも保護者会活動に関わって頂ければと存じます。東京都保護者会では、皆様のご参加をお待ちしております。

最後に日本体育大学の益々の発展と東京都保護者の皆様・学生の皆さんのが躍進を願い、ご挨拶とさせていただきます。



日体大のオリンピック・パラリンピック

小嶋 晃子（3年保護者）

我が家には3人の日体大生がいます。1人は3年生の息子、2人は56年前の卒業生の私の両親です。両親は日体の4年生の時に前回の東京オリンピックを経験しました。2人とも選手村で働いていたそうです。東京に2度目のオリンピックが来て、偶然にも同じ道を歩んでいる孫とオリンピックと一緒に見ることが出来たのはこの上ない幸せだったことでしょう。(所々で昔話を織り交ぜながらテレビ観戦をしている3人を微笑ましく見ているのが何よりも楽しく私の密かなもう一つのオリンピックの楽しみでした。)

今回のオリンピック・パラリンピックは無観客で行われた為少し寂しく感じましたが、その分テレビ中継が充実していました。選手たちの息遣いや会話など普通の試合ではなかなか聞くことが出来ない声や音も楽しむことが出来ました。飛び散る汗や選手たちの感じる緊張感も一緒に体感したようでした。普段あまり見る機会のない競技もたくさん見ることが出来ました。夏休みということもあり朝からテレビにかじりついて見ていました。個人的には特にパラリンピックの放送が多くてうれしかったです。車いすバスケの激しさやシュートの華麗さ、車いすバドミントンの手に汗握るラリー

入江 聖奈	ボクシング	金
阿部 詩	柔道	個人 金、団体 銀
鈴木 歩佳	新体操	団体 8位入賞
東 犀良	フェンシング	団体 6位入賞
高橋 藍	バレーボール	7位入賞
畠山 紗英	BMXレーシング	24位
三上 沙也可	板飛び込み	準決勝 16位
山崎 アンナ	セーリング	ペア 18位
鈴木 透生	水球	10位
河口 華子	水球	9位
橋田 舞子		
工藤 恭子		
清水 麻有	7人制ラグビー	12位
平野 優芽		
永田 花菜		
松田 凜日		

卒業生の結果はこちらから▼



梶原 大暉	バドミントン	シングルス 金、ダブルス 銅
高船 義伸	車いすバスケ	銀メダル
赤松 龍我		
富田 宇宙	競泳	400M自由形 銀、100Mバタ 銀 200M個人メドレー 銅
		混合400Mリレー 5位入賞
窪田 幸太	競泳	100M背泳ぎ 5位入賞 400Mメドレーリレー 8位入賞
		100M自由形 16位
吉越 奏詞	馬術	10位
友野 有理	卓球	シングルス 5位、団体 5位

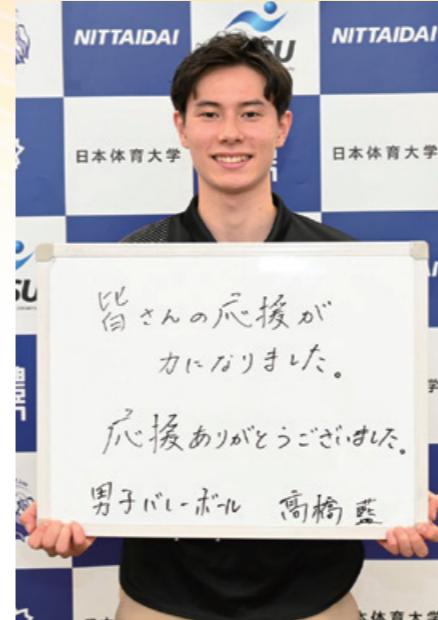
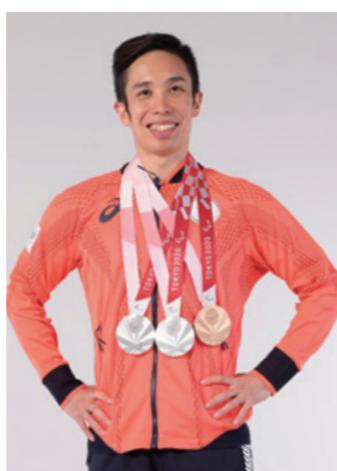
パラリンピック

の応酬など、枚挙にいとまがありません。

競技を楽しんでいて、選手達の出身大学の欄に日体大の文字を見つけると自分の事のように誇らしく、応援する手に力が入りました。日体大出身（現役・卒業生）のオリンピック選手は59名。パラリンピック選手は10名。出場種目は27競技にもなるそうです（日本体育大学東京オリンピック2020特設ホームページ参照）。さすがは日体大。素晴らしいの一言につきます。

開催が一年延びたことで選手達もモチベーションを保つのが大変だったことでしょう。また、コロナ禍で開催自体が危ぶまれ、賛否両論ある中で練習をすることも困難な時もあった事でしょう。様々な試練を乗り越えて日本代表の座を勝ち取り、オリンピック・パラリンピックに出場した選手たちは本当に素晴らしいと思います。

この夏、沢山の感動を多くの選手からいただきました。期待されプレッシャーも計り知れないほどだったことでしょう。自分の持てる力を最大限に発揮し力の限りを尽くした選手たちに惜しみない拍手を送りたいと思います。本当にありがとうございました。



n-pass(日体大学内ポータルサイト) って

● 何が出来る・分かる？

- ・個人情報・実習情報の管理
- ・授業課題提出
- ・大学からの連絡
- ・出席確認
- ・履修登録
- ・授業、資格等の詳細など
- ・成績照会

● 誰が見られるの？

生徒だけでなく**保護者**も見る事が出来ます。
入学時に学校から提示の
IDとPASS入力してください。

<https://n-pass.nittai.ac.jp/up/faces/login/>



2020年度卒業者就職状況

プロ、実業団 78人

トヨタ自動車株式会社

富士通株式会社

株式会社ミキハウス

株式会社豊田自動織機

株式会社クボタ

ENEOS株式会社

東日本電信電話株式会社

日本たばこ産業株式会社

株式会社中日ドラゴンズ

高砂部屋

公立学校 247人

小・中・高教諭 ほか

私立学校 105人

日本体育大学

小・中・高教諭 ほか

国家公務員 21人

防衛省

法務省

海上保安庁 ほか

地方公務員 131人

警視庁・都府県警察本部

東京消防庁・市町村消防本部

県庁・市町村役所 ほか

その他 1076人

セントラルスポーツ株式会社、ミズノ株式会社

凸版印刷株式会社、パナソニック株式会社

西武鉄道株式会社、東海旅客鉄道株式会社

みずほ証券株式会社、吉本興業株式会社

保育園・幼稚園、医療関係 ほか

NHK「おかあさんといっしょ」第10代体操のお兄さん 佐藤弘道先生インタビュー

野口 ひとみ (4年保護者)

今年度後期より児童スポーツ教育学部で講師になられた佐藤弘道先生のインタビューと「座って出来る体操」の撮影を行いました。「座って出来る体操」は東京都保護者会のイベント等でお披露目を予定しておりますので今回はインタビューをご紹介したいと思います。佐藤先生には私の不慣れなインタビューに沢山お話し頂きましたが全部ご紹介できない事がとても残念です。



※撮影時のみマスクを外し対応しました。

日体大での思い出は?

2年の時に手首を骨折して3年の1年間をほぼ治療に費やしてしまい、お世話になった先輩方と一緒に演技発表会が出来なかつた事が悔しい、楽しい思い出は沢山あるけれど、その時の悔しい思いの方が勝ちますね。自分の不注意での後悔があるので、学生の子達には怪我はしてほしくないです。

日体大生への思いは?

日体大という素敵なお大学、自慢のお大学と思っているのでキャンパスライフを楽しんで欲しい。

4年間しかないので、学年によって立場は変わってくる、部活などの責任感も変わっていく、苦しい事もあるけど、まずは楽しむこと、苦しい事も楽しいと思えるように頑張って欲しい。

体操のお兄さんを歴代3位の12年間続けられた理由は?

一緒にオーディション受けた方達がすごい真剣で、その人達に失礼だなと思った。その時に最低10年は続けたいという目標ができた。その結果が12年。そこはもう感謝です。ありがとうございましたと今でも番組には感謝しています。

東京オリンピック聖火リレーはなぜ高山で?

岐阜県での清流国体、そこのテーマソングで体操とダン



スバージョンの歌唱をさせて頂き、ミニマモ体操とミニマモダンスを学校教育に広げるという活動がありその関わりから岐阜県のスポーツ大会や、ねんりんピックの応援大使をさせて頂き、そのおかげで初日の最終ランナーとして高山の舞台でトーチを大きな台につけるという本当に光栄な素晴らしい体験をさせていただきました。

後期授業で学生へ伝えたいことは?

未来の保育士、幼稚園教諭を育成する場なので学生達が現場に行った時にどうやったら困らないだろうと常に考えながら、今までの経験を生かした授業を自分なりに学生に伝えたい。研究室の先生方に助けていただきながら学生とコミュニケーションを取り、少しでも手助けができたらと思っております。スポーツと運動の違いや幼児の運動には遊びが必要なこと、幼児指導は難しいのでその辺も伝えていきたいと思います。

日体大あるあるありますか?

全国どこに行っても卒業生とわかると学籍番号を聞き合う。そこから会話が弾んで盛り上るので日体大繋がりは有難い。日本全国共通です。笑

最後に最近の活動を教えてください。

医学の学位を取ってから親子体操の書籍を作らせてもらったり、さかあがりをテーマに絵本や先生達のための運動の教材を作ったりがメインの活動となっております。からだを動かすことでストレス度や抑うつ度が減少することが研究の結果分りましたので、その効果を親子体操を通じてテレビや新聞などのメディアを通じて発信しています。

他にも体操と出会ったきっかけ、オーディションについて、体操のお兄さん時代について等楽しいお話しやトーチを持たせていただいた時の写真撮影、役員生活最後の年にとても素敵なお時間を頂き素晴らしい思い出ができました。本当にありがとうございました。

横浜・健志台キャンパス

世田谷キャンパスの4倍の広さ緑溢れるキャンパス(こどもの国・TBS緑山スタジオと隣接)



教室、研究室、事務室、健康管理センター、スポーツトレーニングセンター等が入っている百年記念館を中心として、3棟の体育館、陸上競技場、体操競技場、プール、ラグビー場、サッカー場、野球場、テニスコート等の体育スポーツ施設が有ります。また図書館(分館)、学生ホール、食堂、シャワー・ロッカールーム、合宿寮などの施設もあります。

(日本体育大学HPより引用)

東急田園都市線青葉台駅から日体大前行きのバス乗ると、十数分で緑豊かな高台にキャンパスが見えてきます。

構内は広くアップダウンが有りますので、見学会にお越しの際は歩きやすい靴をお薦めします。

学食では、健志台ランチ(スペシャル・金・銀・銅)が話題です。

野球場は2層構造、陸上競技部には箱根駅伝用?「坂道専用トレーニングマシーン」が有ります。

救急車に試乗(動きません)も楽しかったです。(キャンパス見学会譚)

校舎・その他建物

- ★ 正門、百年記念館、図書館
- ★ 2号館、3号館、4号館、5号館、6号館、7号館
- ★ 8号館、9号館、体育館・運動施設
- ★ 米本記念体育館、体操競技館、第一体育館、第二体育館、第三体育館
- ★ アーチェリー場、ラグビー場、サッカー場、野球場、プール、陸上競技場、テニスコート、ゴルフ教場



詳細は[こちらから](#)
アクセスできます



* 今回は健志台キャンパスのみ掲載

第58回体育研究発表実演会 in 横浜アリーナ

勝山 久美子 (3年保護者)



「維新～新たな始まり」をテーマに11月17日（水）、観客数と時間を縮小して第58回体育研究発表実演会が横浜アリーナにて開催されました。救急医療サークルによる感染対策の実演があり、体制は万全、という安心のもと開演です。迫力ある和太鼓の演奏に胸躍り、チアリーダーの澆刺とした姿に自然と笑顔になっていました。試合後の合掌が印象的だったセパタクロ。2.3mのネットを優に超えるジャンプに目を見張るバレーボール。どちらもポールの最高速度は想像以上です。内村航平選手を中心、オリンピック・パラリンピックで活躍された日体大の関係者が一堂に会した光景はまさに壯観。選手へのインタビューが白井健三先生というとても贊

沢な時間を味わうと共に、五輪の感動が蘇りました。朝鮮大学校のしなやかな舞踏、妖精が舞っているかのような新体操、凄いの一言の体操競技部のタンブリング。次々と組立体操を成功させていく体操部員の8割は初心者からのスタートとの事。驚きです。最高到達点が7mにもなるトランポリンでは見ているこちらにもGがかかる感覚を味わいました。そして一糸乱れぬ圧巻の集団行動。未来への希望が込められたダンス。130年の伝統を誇るエッサッサの力強さはコロナさえも吹き飛ばしてくれそうでした。思うような活動が出来ない大変な時期を乗り越え、アリーナで躍動する学生達の姿に大きな力をもらつた、あつという間の2時間でした。

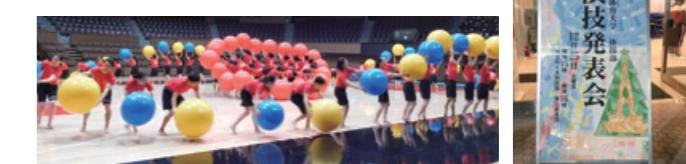
体操部 第53回演技発表会

志田 周子 (3年生保護者)

体操部の第53回演技発表会が12月25日（土）に行われました。昨年に引き続き、厳重な感染対策を行いつつも、演技者は演技中のみマスクを外すことができたため、学生たちの弾けるような笑顔を見ることができました。演技はさすが、日体大体操部！確かな技術で美しくしなやかに側転やバック宙などを次々に披露してくれます。Gボールという大きく不安定なバランスボールのようなものを使って行う演技はカラフルなボールの色が演技に華やかさをプラスします。それだけではなく、家中でも老若男女を問わず楽しく取り組める要素があり、コロナ禍における体力維持や向上にヒントをもらいました。そして、私自身も柔軟性を身に付けたいと感じていたタイミングで、佐藤弘道先生による「みんなで体操」が行われました。その場で簡単に取り組める体操でしたが、凝り固まった身体を気持ちよく伸ばすことができました。また、息子達が幼い頃、毎日テレビで一緒に見ていた「弘道お兄さん」と体操ができたことにも大変感激しました。そして、最後の演目はGym-mix。集団の美を追求する演目であるのに、接触を伴う練習がなかなかできなかったとのことですですが、そんなことを全く感じさせない圧巻の演技でした。支えてもらって跳び、受け取ってもらうという一連の演技は強い信頼関係がなければ不可能だと思います。集団での練習ができない中でも一人一人ができることを精



一杯行き、懸命に個人練習に励み、ミーティング等で部員の絆を深めたからこそ成しえたことだと思いました。フィナーレでは、主将から「日々の感謝を伝えるためにこの場に立った」という言葉がありました。確かに、皆さんの演技からは技術力だけではなく、その場所に立てることへの感謝の気持ちや幸福感が伝わってきました。クリスマスのこの日、体操部の皆さんのおかげでとても幸せな時間を過ごすことができました。ありがとうございました！



箱根駅伝

東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）は、令和4年の開催で98回目を迎えました。



我ら日体大の箱根駅伝は、予選会からの戦いとなりました。予選会は、令和3年10月23日、立川市の陸上自衛隊立川駐屯地内で行われました。無観客で行われたため、応援はできませんでした。予選会では、上位10校に与えられる本大会の出場権をかけ、41校が出場しました。その中で日体大は上位3位となり、出場権を獲得しました。74年連続出場74回目となります。

令和4年1月2日と3日に行われた本大会においても、コロナウイルス感染症の影響を受け、沿道での応援については自粛が求められました。保護者会も昨年に引き続きテレビ観戦による応援となりました。

往路は、出だしで出遅れがあったものの各区間で頑張りましたが追い上げることができず、往路16位となりました。1位との差が10分を1秒超えたため、復路は繰り上げスタートとなっていました。



まいました。復路での各区間で巻き返すように頑張りましたが、順位を上げることはできませんでした。10区のアンカー佐藤慎巴君4年生が最後の意地を見せて17位でゴールしました。総合結果でも17位となりました。選手の皆様、お疲れ様でした。



テレビ中継では、上位の走者の映像ばかりが放映されており、応援している日体大の選手の映像は少なく、もっと応援したいという気持ちが募りました。令和5年の箱根駅伝は、沿道で声援を届けられることを願っています。

※画像は日本テレビ放映より引用

スキーパーク

スキーパークは「インターラッジ男女総合優勝」を目標に、アルペン、クロスカントリー、ジャンプ・コンバインド、スノーボードの4セクションで活動しています。

2020年度は新型コロナウイルスの影響により冬のシーズンインまで、選手が集まつてのトレーニングは困難でしたが、2021年度からは感染対策に留意しながら各セクションごとにトレーニングを続けています。

活動の年間スケジュールは4月から11月は世田谷キャンパスを中心に陸上トレーニング、11月より海外や北海道など積



小俣 雅史 (4年保護者)

空手道部

ご縁ありまして入学が決まった際は息子は大喜びで、高校の先輩がいた事もあり、合格と同時に空手道部に入部させて頂きました。オンラインでの授業のなかで友人作りも難しくなった昨今、幸いにも部活の仲間が沢山でき、親としても大変有難く感じています。

どうしても大学を覗きに行きたく、一度オープンキャンパスに遊びに行きました。写真の一つはその時に撮った練習風景です。奇遇にもその時に空手道部が活動しており、練習風景を見せて頂きました。道場には厳しいなか和やかな雰囲気が流れ、日頃先生方が優しくご指導下さっているのが見てとれて私はとても幸せな気分になりました。大会出場や賞を取る事はなかなか難しいと思いますが、私にとりましてはそれよりも大



事なこと、生涯の友を持つ、武道を通じて礼節を持ち忍耐力を身につけ人を敬う、充実した学生生活を送ることを息子は得られたと思っております。

東京オリンピックでは初めて空手が採用され、金メダリストも生まれ大変盛り上がりました。部の仲間達も何名かボランティアでお手伝いをしていたようです。息子と私もチケットが当選していて応援を楽しみにしていました。残念ながら会場で直接観戦する夢は叶いませんでしたが、時々テレビに映るボランティアで働いている仲間達や一緒に練習したことのあるオリエンピアンを観て応援にも力が入り楽しむ事ができました。

この状況の中、先生方が感染対策に取り組みながら部活動をさせて頂いている事に感謝しています。私の息子の空手に対する想いは、始めた時から同じで、空手は人助けの為に役立て欲しいと思っています。この状況に勝つ、武道で鍛えた強くて優しい心と身体を持ってくれる様願っています。今は大会開催もあまり無く、開催しても無観客などで残念ですが、在学中には是非とも空手道部の応援に行くのを心より楽しみしております。

尾崎 綾 (2年保護者)



アメリカンフットボール部 THE TRIUMPHANT LION

今村 司 (3年保護者)

アメリカンフットボールを通じてタフな人材を輩出する。2021年のチームスローガンは“TOUGH”とかかけています。TOP8昇格を目指し、世田谷キャンパスのグラウンドにて日々厳しい練習をしています。高校までは違う競技をし大学から始める学生も多く、今ではレギュラーで活躍をしている選手も多いです。

アメリカでは非常に人気の高いスポーツですが激しいコンタクトも多いです。しかしその中で人間性を高められていると感じています。

フィールドで戦う11人の選手だけではなくグラウンドにいる部員全員で最後まで諦めない姿はとても勇敢に見えます。



コロナ禍での大変な環境の中、試合等が延期、中止になりましたが秋季リーグより有観客になり彼らの有志を見る事ができ保護者としてはとても嬉しく思っています。自分に厳しく仲間を信頼する1プレー1プレーが見どころです。

是非!関心のある方は日本一を目指す日体大アメフト部を見てみてください!



カヌー部

平田 美智子 (2年保護者)

カヌー部は、総勢約60名で多摩川と世田谷キャンパスを拠点に練習を行っております。

カヌーはマイナーな競技ではありますが、日体カヌー部員は高校時代全国大会上位者の集まりからなっています。

全身を使い艇を進める為、かなりの体力を使う競技なので日々体力作りに励んでいます。

近年、コロナ禍の為大会中止や無観客で観戦もままならない状態ではありますが、解禁された際には応援に駆けつけたいと思っております。

特にゴール寸前は、迫力があり見応えはあります。どうぞ、お時間あれば是非お越しになって下さい。



《2022年度佐々木誠脩主将より》

カヌー部は2021年8月24～29日に山形県月山湖で行われた全日本学生カヌー選手権に出場しました。新型コロナウイルスの影響で、昨年に引き続き、出場種目の制限、そして無観客試合として行われた大会となりました。

成績としては、k-2200mでの優勝を初め、多くの選手が決勝に上がって戦う事ができましたが、男子総合が3位、女子総合が4位と去年に比べて順位を落とす結果となりました。

しかし、部員全員がインカレに出場する事ができ、限られた練習の成果を発揮する場を設けていただいた大会運営、支えてくださる保護者、OBOGの皆様に感謝しています。

全日本選手権、国民体育大会が中止となったため、今シーズンの試合はもうありませんが、今年度の反省を生かしてよりよいチームを目指し、来年度は悲願の総合優勝を達成できるよう部員一同励んでいきたいと考えています。